
第 37 回日本神経科学大会
Neuroscience2014

ランチタイムミニシンポジウム

募 集 要 項

2014 年 9 月 11 日(木)～13 日(土)

パシフィコ横浜

第 37 回日本神経科学大会/Neuroscience2014

大会長 高橋 良輔

(京都大学大学院医学研究科・臨床神経学)

第 37 回日本神経科学大会の開催にあたって

謹啓 時下ますます清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、第 37 回日本神経科学大会が Neuroscience 2014 として、2014 年 9 月 11 日（木）から 13 日（土）の 3 日間、パシフィコ横浜において開催されることになりました。

本大会を主催する日本神経科学学会の前身である日本神経科学協会は、1974 年 10 月、我が国の神経科学の振興を目的として設立され、1978 年に第一回学術集会を開催しました。それ以降、本大会は基礎から臨床に及ぶ幅広い分野の神経科学研究者の研究発表や情報交換の場として、順調に発展を遂げました。会員数わずか 70 名で出発した日本神経科学協会は 1991 年からは日本神経科学学会と名称を変更し、2013 年 5 月現在、会員数 5800 名を越える、我が国の神経科学界を代表する学会に成長しました。

2014 年は学会設立 40 周年となります。この節目にあたる年の大会では、今後も果てしない発展の可能性を秘める神経科学のパワーを感じていただきたいと思い、「**神経科学が世界を変える**」（“**Neuroscience Will Change the World**”）をテーマとしました。分子、細胞、神経回路と異なる階層での神経系の理解を進める手段として、例えば蛍光タンパク質による細胞イメージング、iPS 細胞、光遺伝学の新しい手法が開発され、神経回路の解明や高次機能の理解が大きく進展しようとしています。MRI や PET などの画像解析はヒトの神経科学的理解を早め、ゲノム科学は遺伝性のみならず孤発性の神経疾患の発症機構解明の手段を提供するようになりました。このような時代の学問の最先端で活躍する国内外の 6 名のトップ研究者に「神経科学が世界を変える」ことを会員の皆様に実感していただけるようなプレナリーレクチャーと特別講演をお願いしました。

また、神経科学学会は、学会挙げての強い意志と努力により、国内の学会では英語化が最も進んでいる学会です。この結果、他の学会ではみられない近隣国からの一般参加者も見かけるようになりました。しかしさらなる外国人研究者の参加を促進するよう、アジアの神経科学学会との共催企画を計画しております。次に臨床神経科学者、神経疾患研究者の参入を増加させることも当面の学会の大きな目標の一つです。この目標に向けて今大会では日本神経学会とお互いに共同企画を行う予定です。

一方、専門分化が進んで、システム神経科学、分子神経科学、臨床神経科学全体を見渡すことが困難になってきていることも大きな問題です。次世代の幅広い視野をもつ神経科学者の育成に向けて、そしてあらゆる世代の神経科学者の生涯教育にも役立つような教育プログラムを充実させたいと思います。

最後に 2014 年は会場費の値上げ等、周辺状況から、会期を 3 日間に短縮して行うことになりました。しかし内容を濃いものにして、例年に劣らない充実した大会にすべく、全力を挙げる考えです。

本来ならば本会の開催につきましては、会員からの参加費で賄うべきところですが、開催の目的を達成するには、会場の設営や学会の運営に多大の費用を要し、諸費用の不足が見込まれております。つきましては厳しい状況の中甚だ恐縮ではございますが、本会の開催意義と事情をご賢察の上、格別のご協力、ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

謹白

2014 年 2 月吉日

第 37 回日本神経科学大会 / Neuroscience2014
大会長 高橋 良輔
京都大学大学院医学研究科・臨床神経学

開催要項

1. 会議の名称 第37回日本神経科学大会／Neuroscience2014
The 37th Annual Meeting of Japan Neuroscience Society
2. 会議のテーマ 神経科学が世界を変える
Neuroscience will change the world
3. 大会長 高橋 良輔（京都大学大学院医学研究科・臨床神経学）
4. 開催日時 2014年(平成26年)9月11日(木)～13日(土)
5. 開催会場 パシフィコ横浜
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1
<http://www.pacifico.co.jp/>

6. 会議の目的

神経科学分野の最先端で活躍する国内外のトップ研究者を招聘し、基礎から臨床に及ぶ幅広い分野の神経科学研究者の研究発表や情報交換の場として「神経科学が世界を変える」ことを実感できる機会とする。

また、外国人研究者や臨床神経科学者、神経疾患研究者の参加促進に向け、アジアの神経科学学会との共催企画を開催する。そして次世代の幅広い視野をもつ神経科学者の育成に向けて、かつあらゆる世代の神経科学者の生涯教育にも役立つような教育プログラムを充実させ、世界の神経科学研究の向上に貢献することを目的とする。

7. 会議の概要

(1) 会議の構成(予定)

プレナリーレクチャー、特別講演、シンポジウム、ミニシンポジウム、ランチョンセミナー、一般演題(口演・ポスター)

(2) 会議の日程(予定)

日付	午前	昼	午後
9月11日 (木)	特別講演 シンポジウム プレナリーレクチャー	ランチョンセミナー ミニシンポジウム	シンポジウム 一般口演
9月12日 (金)	シンポジウム	ランチョンセミナー ミニシンポジウム	特別講演 プレナリーレクチャー 一般口演
9月13日 (土)	シンポジウム	ランチョンセミナー ミニシンポジウム	特別講演 プレナリーレクチャー 一般口演

- (3)参加予定者数 約 3,000 人
(4)使用言語 日本語／英語

8. 組織委員会

大会長	高橋 良輔	(京都大学大学院医学研究科・臨床神経学)
実行委員長	村井 俊哉	(京都大学医学研究科精神医学)
実行副委員長	望月 秀樹 萩原 正敏	(大阪大学医学系研究科神経内科学) (京都大学医学研究科形態形成機構学)
実行委員会幹事	池田 昭夫 漆谷 真	(京都大学大学院医学研究科 てんかん・運動異常生理学講座) (京都大学大学院医学研究科・臨床神経学)
プログラム委員長	渡邊 大	(京都大学医学研究科生体情報科学)
プログラム委員	青木 正志 池谷 裕二 池田 昭夫 伊佐 正 石井 信 井上 治久 岩坪 威 上村 匡 漆谷 真 大木 研一 大森 治紀 岡部 繁男 岡本 仁 小川 正 尾崎 紀夫 小田 洋一 影山 龍一郎 金子 武嗣 狩野 方伸 神谷 之康 河崎 洋志 河野 憲二 久住 一郎 久場 博司 久保 義弘 黒田 公美 見学 美根子	(東北大学大学院神経・感覚器病態学講座 神経内科学分野) (東京大学大学院薬学系研究科) (京都大学大学院医学研究科 てんかん・運動異常生理学講座) (自然科学研究機構生理学研究所 認知行動発達機構研究部門) (京都大学大学院情報学研究科システム科学専攻石井研究室) (京都大学 iPS 細胞研究所) (東京大学大学院医学系研究科神経病理学分野) (京都大学大学院生命科学研究所 細胞認識学分野) (京都大学大学院医学研究科・臨床神経学) (九州大学大学院医学研究院分子生理学分野) (京都大学医学研究科) (東京大学大学院医学系研究科 神経細胞生物学) (理化学研究所脳科学総合センター) (京都大学大学院医学研究科 認知行動脳科学研究室) (名古屋大学大学院医学系研究科精神医学・親と子どもの心療学分野) (名古屋大学大学院理学研究科) (京都大学 ウイルス研究所) (京都大学大学院医学研究科 高次脳形態学) (東京大学大学院医学系研究科 神経生理学分野) (ATR 脳情報研究所) (金沢大学医薬保健研究域医学系・脳細胞遺伝子学講座) (京都大学大学院医学研究科 認知行動脳科学分野) (北海道大学大学院医学研究科 精神医学分野) (名古屋大学大学院 医学研究科 細胞生理学) (自然科学研究機構生理学研究所 神経機能素子研究部門) (理化学研究所脳科学総合研究センター・黒田研究ユニット) (京都大学 物質-細胞統合システム拠点)

小池 康晴 (東京工業大学 ソリューション研究機構)
後藤 由季子 (東京大学 分子細胞生物学研究所)
酒井 邦喜 (東京大学大学院 総合文化研究科 関連基礎科学系)
櫻井 芳雄 (京都大学大学院 文学研究科 心理学研究室)
定藤 規弘 (自然科学研究機構生理学研究所 大脳皮質機能研究系心理生理学研究部門)
曾良 一郎 (神戸大学大学院 医学研究科 精神医学分野)
高橋 淳 (京都大学 iPS 細胞研究所臨床応用研究部門 神経再生研究分野)
高橋 英彦 (京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座 精神医学教室)
内匠 透 (理化学研究所脳科学総合研究センター精神生物学研究チーム)
土居 雅夫 (京都大学大学院薬学研究科 医薬創成情報科学システムバイオロジー分野)
富永 真琴 (自然科学研究機構 岡崎統合バイオサイエンスセンター 細胞生理研究部門)
中村 和弘 (京都大学生命科学系キャリアパス形成ユニット)
那波 宏之 (新潟大学脳研究所 分子神経生物薬分野)
南部 篤 (自然科学研究機構 生理学研究所生体システム研究部門)
西川 徹 (東京医科歯科大学大学院精神行動医科学分野)
貫名 信行 (順天堂大学大学院医学研究科神経変性疾患病態治療探索講座)
根岸 学 (京都大学大学院生命科学系研究科・生体システム学分野)
林 康紀 (理化学研究所 脳科学総合研究センター)
服部 信孝 (順天堂大学脳神経内科)
尾藤 晴彦 (東京大学大学院医学系研究科 神経生化学分野)
平田 雅之 (大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科学教室)
平野 丈夫 (京都大学大学院理学研究科 生物物理学系)
藤山 文乃 (同志社大学大学院脳科学研究科 神経回路形態部門)
古川 貴久 (大阪大学蛋白質研究所)
古屋敷 智之 (京都大学大学院医学研究科メディカルイノベーションセンター)
枘 正幸 (筑波大学 医学医療系 分子神経生物学)
松井 広 (東北大学大学院医学系研究科新医学領域創成分野)
松崎 政紀 (自然科学研究機構 基礎生物学研究所)
松崎 文雄 (独立行政法人理化学研究所 発生・再生科総合研究センター 非対称細胞分裂研究グループ)
美馬 達哉 (京都大学大学院医学研究科附属脳機能総合研究センター)
虫明 元 (東北大学大学院医学系研究科)
森 憲作 (東京大学大学院医学系研究科 細胞分子生理学分野)
森 泰生 (京都大学大学院地球環境学及び工学研究科)
八尾 寛 (東北大学大学院生命科学系研究科 生命科学機能専攻)
八木 健 (大阪大学)
山下 俊英 (大阪大学大学院医学系研究科 分子神経科学)
山中 章弘 (名古屋大学環境医学研究所 神経系分野Ⅱ)
山中 宏二 (名古屋大学環境医学研究所 病態神経科学分野)
山脇 成人 (広島大学大学院医歯薬保健学研究院 精神神経医科学)
横田 隆徳 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科脳神経病態学分野)

組 織 委 員	岡野 栄之	(慶應義塾大学医学部 生理学教室)
	金澤 一郎	(国際医療福祉大学 東京事務所)
	川人 光男	(国際電気通信基礎技術研究所 脳情報通信総合研究所)
	木村 實	(玉川大学 脳科学研究所)
	高井 義美	(神戸大学大学院医学研究科 病態シグナル学部門)
	竹市 雅俊	(理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター)
	津本 忠治	(理化学研究所 脳科学総合研究センター)
	遠山 正彌	(地方独立行政法人 大阪府立病院機構)
	中西 重忠	(公益財団法人 大阪バイオサイエンス研究所)
	御子柴 克彦	(理化学研究所 脳科学総合研究センター発生神経生物研究チーム)
	柴崎 浩	(京都大学名誉教授)
	高橋 智幸	(同志社大学 脳科学研究科 生命医科学部)
	井原 康夫	(同志社大学 脳科学研究科)
	廣川 信隆	(東京大学大学院 医学系研究科 分子構造・動態学寄付講座)
	水澤 英洋	(東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 脳神経病態学分野)
	吉良 潤一	(九州大学大学院医学研究院 神経内科学)

9. お問い合わせ先/各種申込先

第 37 回日本神経科学大会/Neuroscience2014 運営事務局
〒604-8162 京都市中京区烏丸通六角下る七観音町 634
株式会社 コンベンションリンケージ内
TEL:075-231-6357 FAX:075-231-6354
E-mail:secretariat@neuroscience2014.jp

ランチタイムミニシンポジウム募集内容

1. 開催費用 : 800,000 円(税込)

2. 会場基本仕様

項目	数量	項目	数量
メインスクリーン	1 枚	座長・演者用マイク	各 1 本
液晶プロジェクター	1 台	質疑応答用マイク	フロア 適数
映像スイッチャー機材	1 式	受付・弁当用配布机	4 本
手元ライト	座長・演者・進行・各 1 台	PC オペレーター	1 名
レーザーポインター	演者用 1 本	演者用 PC	1 台

※参加者用弁当は大会側で負担いたします。

※会場基本仕様に含まれないもの

・座長・演者用の交通費、宿泊費等	・同時通訳、機材一式	・講師控室部屋代
・ビデオ録画、録音機材一式	・その他上記の表以外の項目	

3. 開催枠、会場 : 日程、会場の割当は申込締切後、事務局にて決定いたしますので
ご一任願います。

4. 座長・演者の決定 : 申込書に座長、演者、セミナータイトルをご記入ください。
申込書提出時 2014 年 5 月 14 日(水)までに大会事務局まで
お知らせください。

5. 申込方法 : 規定の別紙申込書に必要事項をご記入のうえ、必ず FAX にてお送りください。

6. 申込締切 : 2014 年 5 月 14 日(水)

7. お支払方法 : 申し込み締め切り後、開催費用の請求書を発行いたします。

8. お問い合わせ先/各種申込先

第 37 回日本神経科学大会/Neuroscience2014 運営事務局
〒604-8162 京都市中京区烏丸通六角下る七観音町 634
株式会社 コンベンションリンクージ内
TEL:075-231-6357 FAX:075-231-6354
E-mail:secretariat@neuroscience2014.jp

第37回日本神経科学大会/Neuroscience2014

ランチタイムミニシンポジウム申込書

申込年月日: 年 月 日

1. 希望開催日

第1希望 9月 日

第2希望 9月 日

※ご希望の日程をご記入ください。開催枠につきましては事務局にて最終決定を致しますので、ご一任ください。

【プログラム内容(予定)】

テーマ		
座長	[御名前]	[御所属]
演者	[御名前]	[御所属]

2. 御担当者

開催者名:(日本語) / (英語)

所在地: 〒

御担当者: 所属部署:

TEL: FAX:

E-mail:

備考

--

【お問合せ及び申込書送付先】

第37回日本神経科学大会 運営事務局

〒604-8162 京都市中京区烏丸通六角下る七観音町 634 株式会社 コンベンションリンケージ内

TEL:075-231-6357 FAX:075-231-6354 E-mail:secretariat@neuroscience2014.jp